

〔目的〕 近年ドレスシャツ（ワイシャツ）は、ファッション界の影響を受け、その色、柄、デザイン、素材とも豊富になってきており、個人の体型や嗜好に合わせるため、オーダーメイドの需要も伸びつつある。本研究は、ドレスシャツについてアンケート調査を実施し、その問題点を探り、今後の動向について検討した。

〔方法〕 ドレスシャツの購入や着装方法についての実態調査は、1989年9月～11月の期間、近畿在住の会社員を対象に20～60歳までの成人男子にアンケート用紙を配布し、留置法で実施した。回答者数は408名である。

〔結果〕 (1)自己の身体寸法、衣服寸法の認識度について：ドレスシャツの首回り、衿を把握している人は約64%であり、若年令は低く、年代が高くなるほどその認識度は高い。また胸囲、胴囲、腰囲の認識度は全体に低い傾向であった。(2)色、柄、デザインについて：白無地を選択する人が約65%を占め、色・柄物は若い年代よりも年輩の人の割合が多かった。デザインはダーツ入りよりも背にセンターボックス・ブリーツ入りが好まれている。(3)衿とカフスについて：衿はレギュラーが主であるが、若い人にはボタンダウン、年輩者にはワイドスプレットが好まれており、カフスはスクウェアが多かった。(4)素材について：若い世代は天然素材を好んでいる。(5)購入方法について：40代以上になるとオーダーメイドする割合が高くなり、オーダーする理由は、贈答品として貰ったから、自分の体型に合わせるためとその理由である。また既製品に対する不満は首回り、袖丈、肩幅が合わないなど身体へのフィット性を挙げている。